

(有)トータル保険がみなさんにお届けするニュースレターです。

## ■オンライン相談受付中■

【発行元】

有限会社 トータル保険

〒997-0853 鶴岡市小淀川色田 69-28

TEL 0235-25-1315 FAX 0235-25-1064



HPは  
こちらどうぞ♪



## マスクの下の笑顔

「マスクを引っ張らないで！」子どもたちに厳しく冷たい声を発してしまっていたA子さん。

A子さんは、保育園で働いています。0歳児を担当し、体力的には大変ですが、かわいい子どもたちに囲まれて充実した毎日を過ごしていました。

季節の変わり目には、体調を崩し気味で登園する子どもも多くなるので、マスクをつけることが以前からよくありましたが、マスク姿を怖がらないように、子どもたちが喜ぶようなイラストをマスクの表面に描いていました。子どもたちは興味津々でマスクを引っ張ってきます。「引っ張らないで」と言いながら、その頃は、かわいい手で触られるのが楽しくもありました。

しかし、新型コロナウイルス感染症のことを毎日耳にするようになると、次第にA子さんの心からゆとりが失われていきました。その上、感染予防を徹底するためにゴーグルまでつけなければならなくなり、ますます気持ちに余裕がなくなっていました。

子どもたちに優しく接してあげたい気持ちはあるけど、笑顔が出てこないのです。そんな自分がつくづく情けな

く思えました。その一方で、情けない顔をしていてもマスクで見えないし、無理に笑顔で過ごさなくても0歳児には分からないのでは…なんて思いにもなりました。

そんな状態がしばらく続いたある日、必死に泣き叫ぶ赤ちゃんをあやしているうちに、「ふと、「この子にどうして、私はどう見えているのだろうか」という思いがA子さんの頭に浮かびました。

ゴーグルにマスク姿の保育士に預けられた、無力な赤ちゃんにとって、それはどれほどに恐ろしいことでしょうか。私たち大人には想像もつかないほどの恐怖に違いありません。そう思うと、泣いている赤ちゃんを見て、「かわいそうに。早く安心させてあげたい」とA子さんの気持ちが変わっていったのです。

その日以来、あれほど嫌だったマスクやゴーグルも、この子たちを守ってくれるありがたいものかと思えてきました。笑えなかったA子さん、今では、満面の笑顔で子どもたちに接しています。

私達トータル保険でも、感染から身を守ってくれるマスクの下で、笑顔をやさず、いつかマスクを外して笑える日がくることを、心から願っています。

## 『安んずける喜び』

庄内町 齋藤さん



私の長年の友人の奥さんである疋田さんに、保険初心者ですが、丁寧に分かりやすく説明して頂き、まさにかゆい所に手が届くといった感じを受けた次第であります。

これからも長い人生何が起るかわかりませんが、困った時は相談したいと思います。※齋藤さんはラーメンや美味しい食べ物が好きで、お店を選ぶ時とても参考になります。色んな事にチャレンジする姿に、私自身いつも元気をもらっています！



疋田



# フラット35の取次店になりました



こんな一言からフラット35の取次店になりました。

実は、地元の工務店さんから「銀行融資審査で落ちた方にフラット35の融資手続きをしたいけれど地元で取扱っている所がなく、秋田県から来てもらったんです。地元であればなあ〜」

この工務店さんはフラット35の取次店が地元が無いことで困っているんだなと思い、遠方の知り合い代理店に教えていただき紹介をしていただきました。

その後、業者さんからレクチャーしていただき社員全員の同意を得、審査を受けて取次店になることができました。

地域のお役立ちになればと思います。

## 長期固定金利住宅ローン [民間と提携] 【フラット35】



新築や中古住宅購入の前に  
私たちに相談してください



生命保険・損害保険の総合プロデュース  
有限会社

# トータル保険

TEL:0235-25-1315



営業時間 9:00~18:00

### 事業内容

- ・損害保険・生命保険の総合プロデュース
- ・マネー・相続等各種セミナー  
iDeCo(個人型確定拠出年金)
- ・企業型確定拠出年金  
カーリースの取扱

私たち保険の専門家が  
ご対応いたします。  
お気軽にご相談ください。



## シルバー川柳

シニア世代を中心とした、人生の達人たちによる一句です

- ① ブログより コンロ炎上 気をつける
- ② 食卓に 俺の席だけ アクリル板
- ③ 午後八時 酒提供を 止める妻
- ④ お見舞いに ぞろぞろ来たら そろそろか
- ⑤ ペイペイで 払うと後ろ 行列に

トータル

## 情報 Café



意外と知らない

### がん治療とお金のはなし

がんは慢性疾患の位置づけ。2人に1人は一生のどこかでがん罹患。働きながら治療を続けるのが当たり前の社会に

#### がん体験者より

##### がん

手術がスタートライン。その後の治療は辛く長い。  
セカンドオピニオンを受けて良かった! 治療法は選び取っていくもの

##### 働く

仕事を辞めないで良かった! (仕事は“生活の糧”と同時に“生きる糧”) 罹患前と同じようには働けない・働かない

##### お金

がん保険に入っておけば良かった! 医療費は1年目をピークに徐々に減るが、生活の質を維持・向上させる費用は増える

##### 家族

子どもにがんのことを正しく伝えることは大切(がん教育) 人生は、“自分だけ”のものではない

##### 生活

再発・転移リスクは常にある。これからの人生に向け、これまでを振り返る好契機。がんは克服ではなく共存していくもの

がんと向き合うためには“心とお金”の準備を始めることが大切です